

インタフェース仕様書伝送システム (ISDN) IF 編新旧対照表

(内容現在 平成 27 年 4 月 1 日)

No.	ページ	改定前	ページ	改定後
1	表紙	平成 26 年 11 月	同	平成 27 年 4 月
2	7	3. 3 ID と仮パスワードおよび～省略～	同	3. 3 ID と仮パスワード及び～省略～
3	9	4. 1 ～省略～あくまでも電文に対するトリガーはクライアント側からとなる (クライアント側からの送信、受信ともクライアント側からダイアルアップしなければならない)。	同	4. 1 ～省略～あくまでも電文に対するトリガーはクライアント側からとなる。(クライアント側からの送信、受信ともクライアント側からダイアルアップしなければならない)
4	12	4. 5 事業所より誤ったデータを送信した場合、データ取り消し電文を送ることにより前回送信したデータは削除される (送信における電文のインタフェースは「5. 2. 1 (2)」を参照)。	同	4. 5 事業所より誤ったデータを送信した場合、データ取り消し電文を送ることにより前回送信したデータは削除される。(送信における電文のインタフェースは「5. 2. 1 (2)」を参照)
5	13	5. 2 クライアント側とサーバ側でのインタフェース部分であり、メールヘッダ中の Subject および、X-IFArea という識別 ID を付与し行なう (X-IFArea: 伝送システムが作成するヘッダ情報)。	同	5. 2 クライアント側とサーバ側でのインタフェース部分であり、メールヘッダ中の Subject および、X-IFArea という識別 ID を付与し行なう。(X-IFArea: 伝送システムが作成するヘッダ情報)
6	20	6. 2 クライアント側とサーバ側でのインタフェース部分であり、メールヘッダ中の Subject および、X-IFArea という識別 ID を付与し行なう (X-IFArea: 伝送システムが作成するヘッダ情報)。	同	6. 2 クライアント側とサーバ側でのインタフェース部分であり、メールヘッダ中の Subject および、X-IFArea という識別 ID を付与し行なう。(X-IFArea: 伝送システムが作成するヘッダ情報)

No.	ページ	改定前	ページ	改定後
7	21	(2) 説明) ・データ不正とは、データ中のフォーマットチェックにおいてのエラーであり、同一データの2重送信によるエラー等は、「(4) 交換情報返却時」で返される(「4.4 電文の2重送信に関して」参照)。	同	(2) 説明) ・データ不正とは、データ中のフォーマットチェックにおいてのエラーであり、同一データの2重送信によるエラー等は、「(4) 交換情報返却時」で返される。(「4.4 電文の2重送信に関して」参照)
8	40	・エラーコード 英数字2桁で審査エラーコードを設定	同	・エラーコード 英数字4桁で審査エラーコードを設定
9	45	(1) エラーデータファイル名, エラー行番号, 交換情報識別番号, 事業所番号, 被保険者番号, サービス提供年月, サービス種類, エラー項目番号, エラー項目名, エラーコード, エラー内容	同	(1) エラーデータファイル名, 交換情報識別番号, 事業所番号, 証記載保険者番号, 被保険者番号, サービス提供年月, サービス種類, 項目名, 項目値, エラーコード, エラー内容
10	45	(1) 「・エラー行番号」 「・エラー項目番号」	同	(削除)
11	45		同	「・証記載保険者番号 証記載保険者番号を設定」 「・項目名 エラー項目名を設定」 「・項目値 エラー項目値を設定」 を追加
12	46	・エラーコード 英数字2桁で審査エラーコードを設定	45	・エラーコード 英数字4桁で審査エラーコードを設定
13	47	(2) ～省略～添付ファイルは、XML VERSION 1.0 に準拠している(詳細は付録 c, d 参照)。	同	(2) ～省略～添付ファイルは、XML VERSION 1.0 に準拠している。(詳細は付録 c, d 参照)
14	47	(2) <エラー情報> <XXXX>XX</XXXX>	同	(2) <エラー情報> <XXXX>XXXX</XXXX>

No.	ページ	改定前	ページ	改定後
15	5 2	エラーコード（6桁） N10203 〈エラー内容〉 データ送信電文の時、X-IFArea 文の整理番号が数字ではありま せん。	同	エラーコード（6桁） N10203 〈エラー内容〉 データ送信電文の時、X-IFArea 文の整理番号が英数字ではあり ません。
16	5 2	エラーコード（6桁） N10204 〈エラー内容〉 データ取り消し電文の時、 X-IFArea 文の伝送・整理番号に 数字以外が設定されています。	同	エラーコード（6桁） N10204 〈エラー内容〉 データ取り消し電文の時、 X-IFArea 文の伝送・整理番号に 英数字以外が設定されていま す。
17	5 2	エラーコード（6桁） N10205 〈エラー内容〉 データ取り消し電文の時、 X-IFArea 文の取消・整理番号に 数字以外が設定されています。	同	エラーコード（6桁） N10205 〈エラー内容〉 データ取り消し電文の時、 X-IFArea 文の取消・整理番号に 英数字以外が設定されていま す。
18	5 5	エラーコード（6桁） G10803 〈エラー内容〉 コントロールレコードの事業所 番号が数字ではありません。	同	エラーコード（6桁） G10803 〈エラー内容〉 コントロールレコードの事業所 番号に規定英数字以外が入力さ れています。
19	5 7	〈交換情報識別番号〉 711 〈サービス提供年月〉 200206 〈エラーコード〉 DE	同	〈交換情報識別番号〉 7131 〈サービス提供年月〉 201504 〈エラーコード〉 ADDE
20	5 8	受付交換情報識別番号 〈項目内容〉 交換情報別番号を設定	同	受付交換情報識別番号 〈項目内容〉 データ種別を設定
21	5 8		同	エラー情報に以下の内容を追加 〈タグ名〉 エラーコード 〈項目名〉 審査エラーコードを設定